



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 株式会社マルハニチロホールディングス  
コード番号 1334 URL <http://www.maruha-nichiro.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久代 敏男

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 川 文人

TEL 03-6833-0826

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	631,282	1.4	17,034	0.0	15,299	2.2	3,791	45.5
23年3月期第3四半期	640,348	0.3	17,037	55.4	14,963	73.5	6,962	61.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,237百万円 (20.0%) 23年3月期第3四半期 4,048百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	7.44	6.99
23年3月期第3四半期	13.54	12.64

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	508,947	72,960	11.9
23年3月期	474,281	71,671	12.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 60,438百万円 23年3月期 58,973百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期				3.00	3.00
24年3月期					
24年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	825,000	0.2	16,000	8.1	13,000	13.8	4,000	10.9	7.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料) P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	510,024,159 株	23年3月期	508,574,884 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

24年3月期3Q	393,749 株	23年3月期	371,184 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	509,242,481 株	23年3月期3Q	508,225,227 株
----------	---------------	----------	---------------

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中です。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスク等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、(添付資料) P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第一種優先株式					
23年3月期				20.00	20.00
24年3月期					
24年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にあるなかで、一部に持ち直しの動きもみられるものの、欧州の政府債務危機や急速な円高の進行などにより景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界のうち、水産・食品業界におきましては、デフレや低調な消費者マインドの影響を受け、厳しい状況で推移しました。

このような状況のもとで、当社グループは、持続可能でバランスの取れた事業構造の確立など将来への布石作りを行うため、平成23年10月31日公表の新中期三ヵ年経営計画「ダブルウェーブネクスト(2011-2013)」を策定しました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、震災被害からの復旧に全力を挙げると共に効率的な販売及び固定費の削減に努めた結果、売上高は631,282百万円(前年同期比1.4%減)、営業利益は17,034百万円(前年同期比0.0%減)、経常利益は15,299百万円(前年同期比2.2%増)となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損など特別損失5,395百万円の発生により3,791百万円(前年同期比45.5%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

#### 水産事業

水産セグメントは、国内外の漁業・養殖事業、すりみの生産販売を中心とした北米事業、海外調達ネットワークを持つ水産商事事業、市場流通の基幹を担う荷受事業、市場外流通を受け持つ戦略販売事業から構成され、国内外の市場動向を注視しながらお客様のニーズに対応した加工事業の推進と効率的な仕入れと販売を行い、収益の確保に努めました。

漁業・養殖事業では、漁撈事業はカツオ漁が不振であったものの魚価上昇と買付カツオの取扱増により増収、またメロなど海外漁業が順調で若干の増益となりました。養殖事業はカンパチなどの販売減により減収となりましたが、マグロの魚価上昇等により増益となり、漁業・養殖事業全体では減収増益となりました。

北米事業は、アラスカズワイガニの増枠による増産及び価格上昇に加え、ベーリング海スケソウダラ漁獲枠の大幅増によるすりみなどの増産と前倒し販売により、増収なるも利益は前年並となりました。

水産商事事業は、カニ・タコ・イカ・エビ・ウナギなどの販売が順調に推移したものの、凍魚類の原料販売の苦戦、鮭鱒の市況低迷、エビの買付価格上昇分を売価に転嫁しきれなかったことや海外エビ養殖事業の不振等により、減収減益となりました。

荷受事業は、引き続き市場内流通が縮小し販売苦戦のなか、販売費等の削減を進め、減収増益となりました。

戦略販売事業は、量販・生協向けエビや鮭鱒の引き合いが強く、また、外食・中食業態向け販売も好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、水産セグメントの売上高は399,257百万円(前年同期比1.9%減)、セグメント利益は8,923百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

#### 食品事業

食品セグメントは、市販用及び業務用冷凍食品の製造・販売を行う冷凍食品事業、缶詰・フィッシュソーセージ・ちくわ・デザート・ペットフードなどの製造・販売を行う加工食品事業、畜産物及び飼料を取り扱う畜産事業、化成品・調味料・フリーズドライ製品の製造・販売を行う化成品事業並びにアジア・オセアニア事業から構成され、お客様のニーズにお応えする商品の開発・製造・販売を通じて収益の確保に努めました。

冷凍食品事業は、米飯や冷凍野菜などが好調に推移したことから増収となりましたが、利益面では石巻等の生産拠点における震災被害の影響が大きく、減益となりました。

加工食品事業は、飲料の受託製造を行っていた山形の生産拠点を整理した影響などで減収となり、利益面では、缶詰などが震災で見直されて販売が好調だったものの、ペットフードやデザートの原料高騰や価格競争などで収益が悪化し、減益となりました。

畜産事業は、食肉及び畜産加工品ともに営業力強化を図り増収となりましたが、原料価格の上昇及び新規生産品の立ち上げ遅れなどにて利益幅が圧縮されたことにより減益となりました。

化成品事業は、バイオ関連製品においては震災関連需要が大きかったことにより、増収増益となったものの、調味料やフリーズドライ製品が生産拠点の被災により減収減益となり、全体では減収増益となりました。

アジア・オセアニア事業は、タイの冷凍食品や缶詰の販売において、欧州向けが減収となりましたが、日本、米国、豪州市場などでは好調に推移し、全体として増収増益となりました。なお、昨秋のタイの洪水によるグループ工場への直接的な被害は免れ、事業への影響は軽微でした。

以上の結果、食品セグメントの売上高は215,594百万円(前年同期比0.3%増)、セグメント利益は8,588百万円

(前年同期比9.9%減)となりました。

#### 保管物流事業

お客様の物流コスト削減による在庫圧縮の傾向が続くなか、水産物をはじめ畜産品や冷凍食品の集荷に注力した営業活動を行いました。

冷蔵保管事業は、大型センターを中心に順調に入庫が進み、一方、出庫が低調に推移したことにより前年より高い水準の在庫数量で推移いたしました。

輸配送事業や通関事業などの周辺事業もほぼ順調に推移し、保管物流セグメントの売上高は11,354百万円(前年同期比4.6%増)、セグメント利益は1,157百万円(前年同期比66.7%増)となりました。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は508,947百万円となり、前連結会計年度末に比べ34,666百万円増加いたしました。これは主として季節要因等による売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

負債は435,987百万円となり、前連結会計年度末に比べ33,377百万円増加いたしました。これは主として季節要因等による仕入債務及び借入金の増加によるものであります。

少数株主持分を含めた純資産は72,960百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,289百万円増加いたしました。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,492	15,625
受取手形及び売掛金	89,224	128,223
有価証券	35	35
たな卸資産	110,122	122,903
その他	20,837	15,976
貸倒引当金	△853	△929
流動資産合計	238,859	281,833
固定資産		
有形固定資産		
土地	60,711	60,080
その他(純額)	76,621	75,443
有形固定資産合計	137,333	135,524
無形固定資産		
のれん	19,629	18,520
その他	7,251	6,878
無形固定資産合計	26,881	25,399
投資その他の資産		
投資有価証券	28,051	27,030
その他	54,667	50,501
貸倒引当金	△11,511	△11,342
投資その他の資産合計	71,207	66,189
固定資産合計	235,421	227,113
資産合計	474,281	508,947
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,571	42,911
短期借入金	189,829	222,852
未払法人税等	3,200	1,486
引当金	3,258	984
その他	31,283	35,627
流動負債合計	256,143	303,862
固定負債		
長期借入金	108,973	96,461
退職給付引当金	26,564	27,508
その他の引当金	438	332
その他	10,490	7,821
固定負債合計	146,466	132,125
負債合計	402,610	435,987

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	31,000	31,000
資本剰余金	31,699	31,699
利益剰余金	8,190	10,316
自己株式	△64	△67
株主資本合計	70,826	72,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,130	△1,449
繰延ヘッジ損益	△24	△5
為替換算調整勘定	△9,697	△11,055
その他の包括利益累計額合計	△11,852	△12,510
少数株主持分	12,697	12,522
純資産合計	71,671	72,960
負債純資産合計	474,281	508,947



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	640,348	631,282
売上原価	551,138	543,528
売上総利益	89,209	87,753
販売費及び一般管理費	72,172	70,719
営業利益	17,037	17,034
営業外収益		
受取配当金	828	802
雑収入	1,507	1,891
営業外収益合計	2,336	2,694
営業外費用		
支払利息	3,174	2,870
為替差損	413	1,088
雑支出	821	470
営業外費用合計	4,409	4,429
経常利益	14,963	15,299
特別利益		
固定資産売却益	50	95
投資有価証券売却益	112	239
その他	608	116
特別利益合計	772	451
特別損失		
災害による損失	—	1,405
投資有価証券評価損	10	2,078
貸倒引当金繰入額	1,139	1,139
その他	2,525	772
特別損失合計	3,675	5,395
税金等調整前四半期純利益	12,059	10,355
法人税等	4,352	5,908
少数株主損益調整前四半期純利益	7,707	4,447
少数株主利益	744	655
四半期純利益	6,962	3,791

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,707	4,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,674	662
繰延ヘッジ損益	△32	19
為替換算調整勘定	△1,618	△1,738
持分法適用会社に対する持分相当額	△333	△154
その他の包括利益合計	△3,659	△1,209
四半期包括利益	4,048	3,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,447	3,132
少数株主に係る四半期包括利益	601	104

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	保管物流 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	407,123	214,980	10,859	632,963	7,384	640,348	—	640,348
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,346	4,245	3,692	23,283	338	23,622	△23,622	—
計	422,469	219,226	14,551	656,247	7,723	663,970	△23,622	640,348
セグメント利益	8,796	9,535	694	19,025	758	19,784	△2,747	17,037

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料等の保管業、海運業、不動産業、ホテル業及び毛皮の製造販売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,747百万円には、セグメント間取引消去166百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用が△2,913百万円含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	保管物流 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	399,257	215,594	11,354	626,206	5,076	631,282	—	631,282
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,491	4,913	3,921	26,326	328	26,655	△26,655	—
計	416,748	220,508	15,276	652,533	5,404	657,938	△26,655	631,282
セグメント利益	8,923	8,588	1,157	18,670	911	19,581	△2,547	17,034

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料等の保管業、海運業、不動産業、ホテル業及び毛皮の製造販売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,547百万円には、セグメント間取引消去50百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用が△2,598百万円含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。